

豊岡市新文化会館 整備基本構想・基本計画策定委員会 (第3回)

資 料

1. 前回委員会のまとめ
 2. 市民意見の収集状況 市民アンケート結果（中間報告）
- 新文化会館の整備スケジュール（案）

1. 前回委員会について

主な意見など

■市民意見の収集（ヒアリングに関連しての意見交換）

- ホールの客席規模1000席以下で、自主興行が成り立つか？
 - 公立文化施設では収支率50%程度で、一般的に黒字にはならない。一定の行政負担が必要で、客席数だけの問題ではない。
 - 「空席が目立つ大きなホールで行うのが良いか」
「適当な規模のホールで満席感を味わいながら行うのが良いか」ということもあり、採算性だけでは判断できない。
- 商業的には1000席以上が望ましいが、豊岡に相応しいのか、将来への持続可能性や子どもの感性を育むことも観点におく必要がある
- 成人式を考えると800席は必要
- 演者としては、空席が目立つ席での公演はやりたくない。満席だと感じられるセパレーションシステムについて検討して欲しい
(800席、500席、300席と料金に応じた施設利用料を設定)
- 遠方からの利用者に対する交通費補助を考えて欲しい
- 豊岡市全域でホール難民がでている。新施設を早くつくって欲しい

■市内のホールの現状整理および新文化会館の方向性について

新文化会館の施設構成案

A案：大ホール＋小ホール＋リハーサル室

B案：大ホール＋小ホール

C案：大ホール＋リハーサル室（小ホールは別の場所に新設整備）

D案：大ホール＋リハーサル室（小ホールは別の場所に既存施設改修整備）

E案：大ホールとリハーサル室のみで小ホールはなし

主な意見

■大ホールについて

- 但馬の中核市として相応しいものでなくてはならない。
- 800席では和田山や養父と同規模で特色がない。「但馬で大きな公演を実施する時は、豊岡文化会館を」と言えるようなホールであって欲しい。
- 様々な工夫をすれば大きなホールでも無駄が無く、省力化を図れる技術があるならば、1000席にすれば良かったと後悔しないように考えたい。
- 1000席をいっぱいにしようという攻めの姿勢が必要。
- 800席くらいが有難い。大きいホールだと生の声が飛ぶのか心配。音響が大丈夫であれば、1000席は少し大きい感じがするが、構わない。
- 1000席超のホールを合唱や室内楽で埋めるのは、知名度に頼っても困難
- ジャンルによりスペック・キャパが異なること、施設維持費は席数に応じて増えることも踏まえて、席数・スペックを考えなくてはいけない。

主な意見

■小ホール、リハーサル室について

- 300席は中途半端なので、200席か400席で議論をした方がよい
- リハ室は様々な団体が練習するために必要だが、料金が高いと使えない。
- C,D,E案だと、大ホールに小ホールの客層が入ってくることが懸念
- 小ホールは市民プラザとの関係もあるので、200席くらいの変った形態にするなど、差別化が必要。
- 小さい練習室を複数設置して欲しい。リハーサル室ができて（大きいと）財源的に練習利用は厳しい

主な意見

■ 予算と規模

- 議会に対して、新文化会館の建設試算額を42億円と説明している。
(現市民開館の延床面積6000㎡に近年の建設費70万円/㎡を乗じた額)
- 大ホール（1000席）1つに建替えて42億円とすれば、800席+200席、700席+300席のように分割できないか。
- 1000席だと、1席あたり2坪くらい必要なので、延床面積6600㎡。
 - 1000席+200席だと、1200席となり、今の延床で入らない。
 - 建設単価も現在は70万円/㎡より高く、性能を上げると更に高くなる
 - ささまざまな工夫が必要

2. 市民意見の収集状況

市民アンケート結果

(中間報告)

実施概要

● 発送

- ・ 11月29日（木）

● 対象

- ・ 市民 3000人（人口割合に応じて、各地区、各年齢層ごとに配布数を調整）

● サンプル数

- ・ 回収数992通（回収率33.1%）

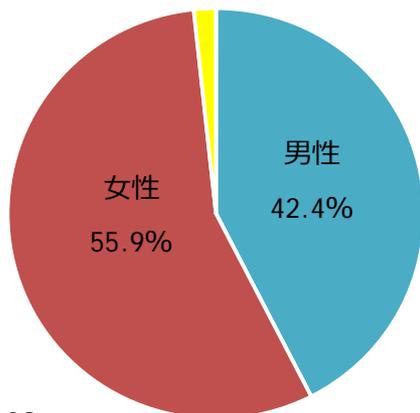
● 設問内容

- I. 属性
- II. 鑑賞について（鑑賞ジャンル・良く行く施設・その理由など）
- III. 文化芸術活動について（文化活動の有無・活動場所など）
- IV. 既存施設について（日常的によく訪れる場所、施設に対する意見など）
- V. 新施設に望むこと（施設規模・機能など）

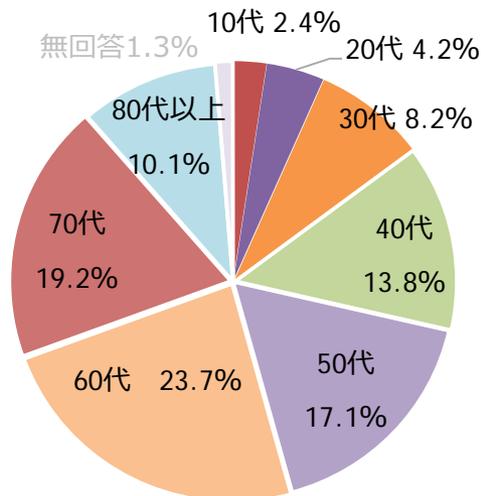
I. 回答者の属性

- ・性別は女性が約6割、男性が約4割。
- ・年齢層別は50、60、70代の回答が多い。

<性別> N=992 無回答 1.71%



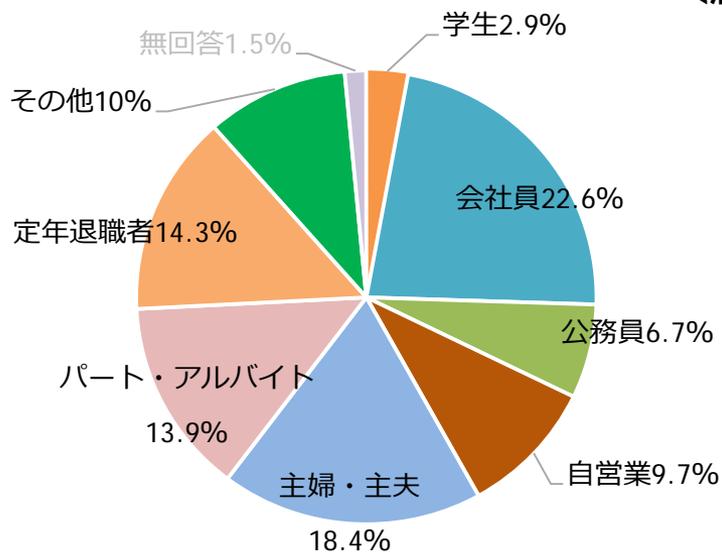
<年齢> N=992



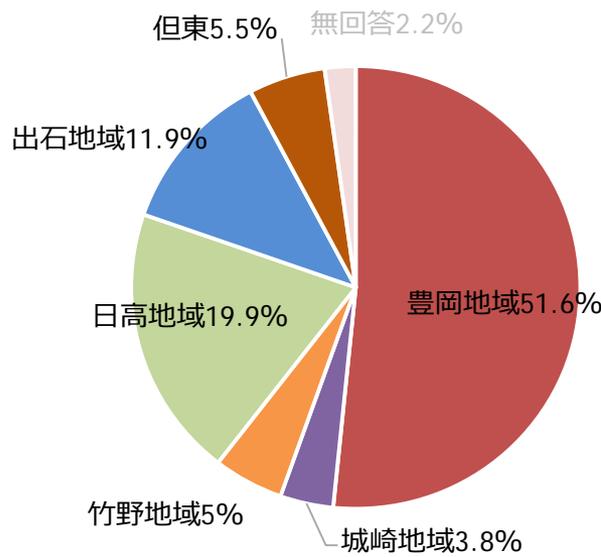
50代、60代、70代の割合が高くなっている

	配分割合	⇒	回答割合
10代	5.3%	⇒	2.4%
20代	7.7%	⇒	4.2%
30代	12.0%	⇒	8.2%
40代	14.8%	⇒	13.8%
50代	14.8%	⇒	17.1%
60代	18.2%	⇒	23.7%
70代	14.0%	⇒	19.2%
80代	13.2%	⇒	10.1%
無回答			1.3%

<職業> N=992



<居住地> N=992



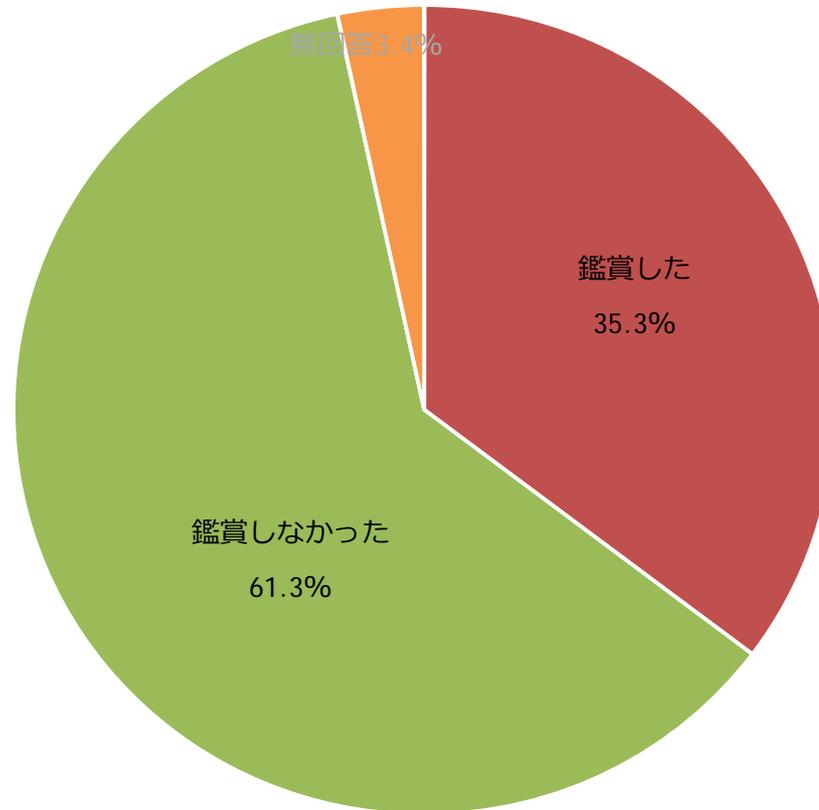
豊岡地域の回答が多くなっているのではなく、平均的な回答率

	配分割合	⇒	回答割合
豊岡	52.2%	⇒	51.6%
城崎	4.4%	⇒	3.8%
竹野	5.7%	⇒	5.0%
日高	20.1%	⇒	19.9%
出石	12.2%	⇒	11.9%
但東	5.3%	⇒	5.5%
無回答			2.2%

Ⅱ.鑑賞について（全体）

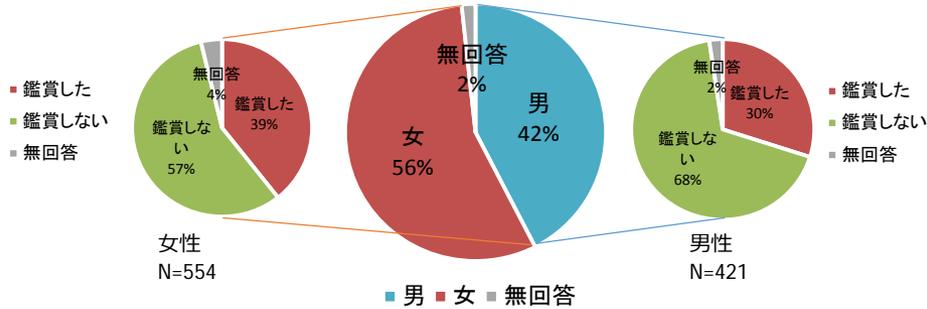
- ・「鑑賞しなかった」が「鑑賞した」を上回り、約6割となっている。

＜過去1年の鑑賞経験の有無＞ N=992



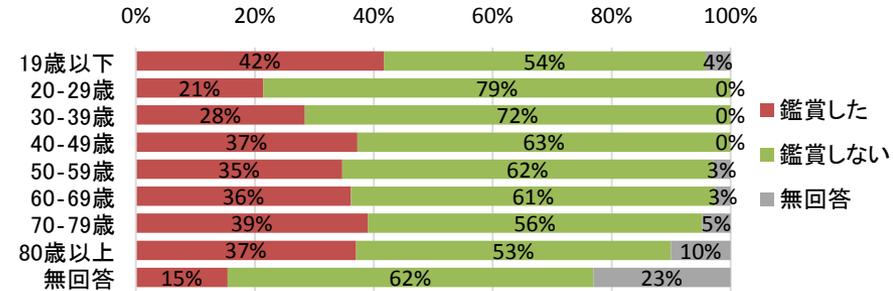
Ⅱ.鑑賞について－鑑賞経験（属性別）

<性別×鑑賞した・しない> N=992



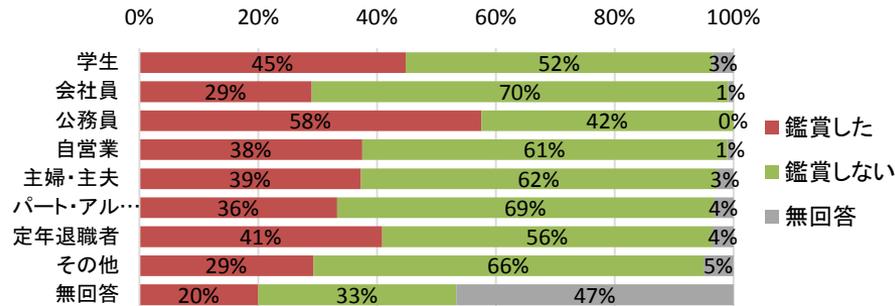
- 鑑賞したと答えたのは、男性が3割、女性が4割であった。

<年齢別×鑑賞した・しない> N=992



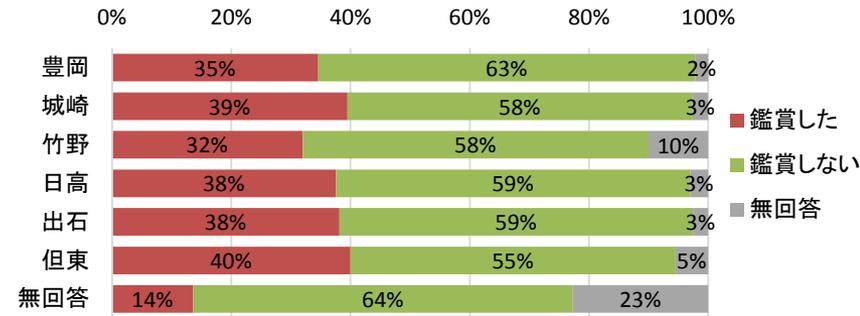
- 学校の芸術鑑賞会のためか、10代の鑑賞率が高い。20代で一度低下、年齢とともに増加し、40代以上は4割弱。
- 子育て世代、中堅層の鑑賞率が低い

<職業別×鑑賞した・しない> N=992



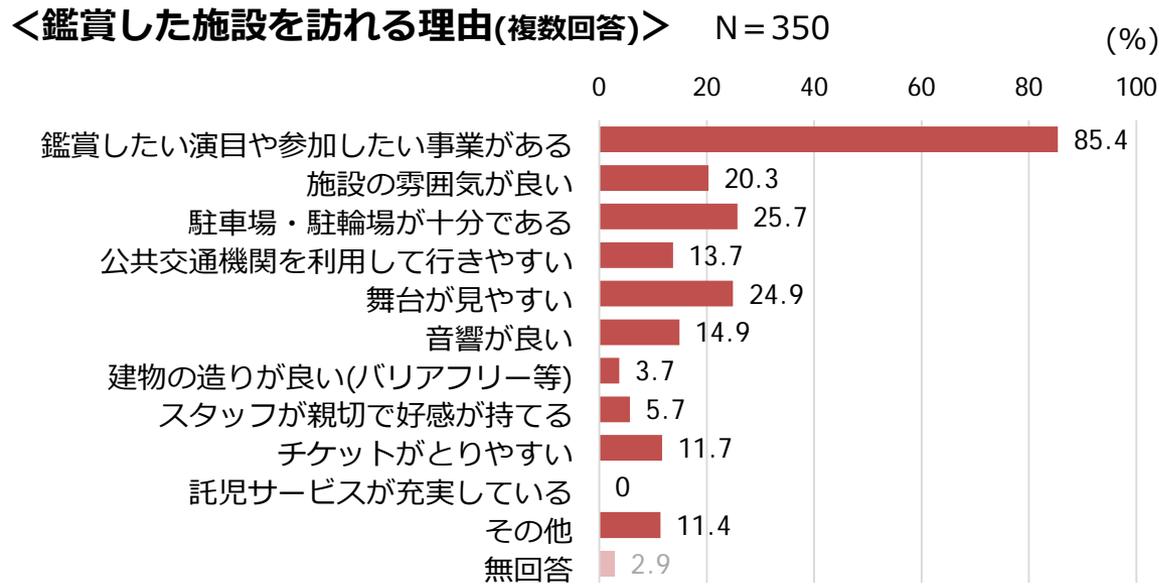
- 公務員・学生が高い。
- 会社員、パート・アルバイトの鑑賞率は低い。

<地域別×鑑賞した・しない> N=992

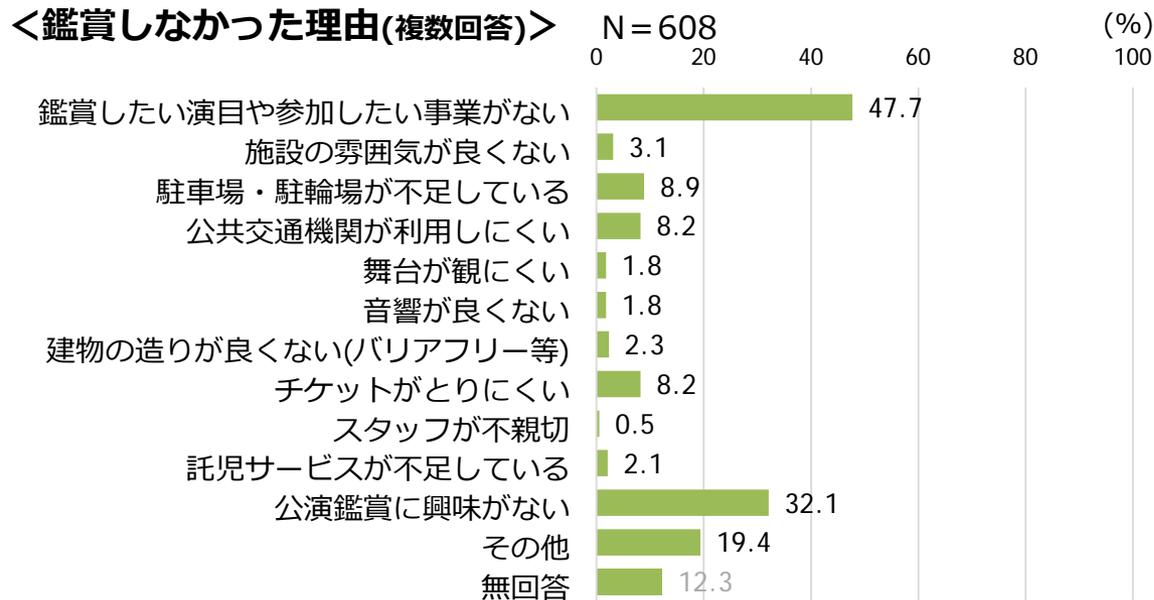


- 居住地による差は小さい。

Ⅱ.鑑賞について－鑑賞した・しない理由



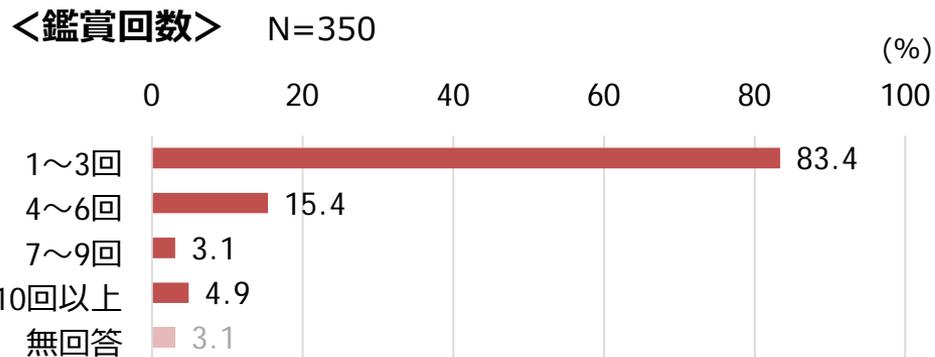
- 鑑賞した施設を訪れた理由は、「鑑賞したい演目や参加したい事業があるから」
- 「駐車場・駐輪場が十分」「舞台が見やすい」が続く。



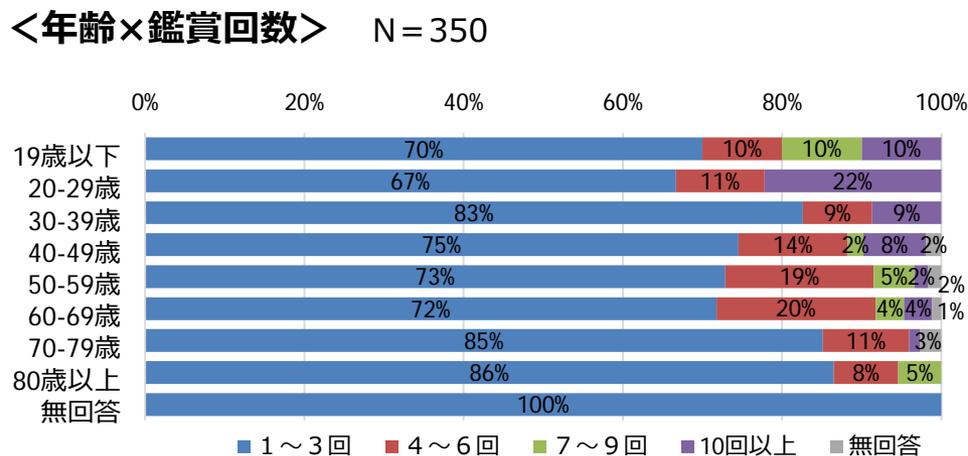
- 鑑賞しない理由は、「鑑賞したい演目や参加したい事業がない」が最大だが、5割に留まる。
- 駐車場不足や公共交通機関を理由とする割合が各1割弱。
- 「公演鑑賞に興味がない」も全体の3割強。

⇒魅力的な演目や事業の提供が課題。具体的なニーズの把握が必要。「公演鑑賞に興味がない」層への働きかけ、アクセス環境の確保も課題。

Ⅱ.鑑賞について－回数



- 劇場・ホールへの来訪回数は1～3回が8割を超える。
- 4回以上は少なく、日常的に劇場・ホールに来訪する習慣は浸透していない様子。

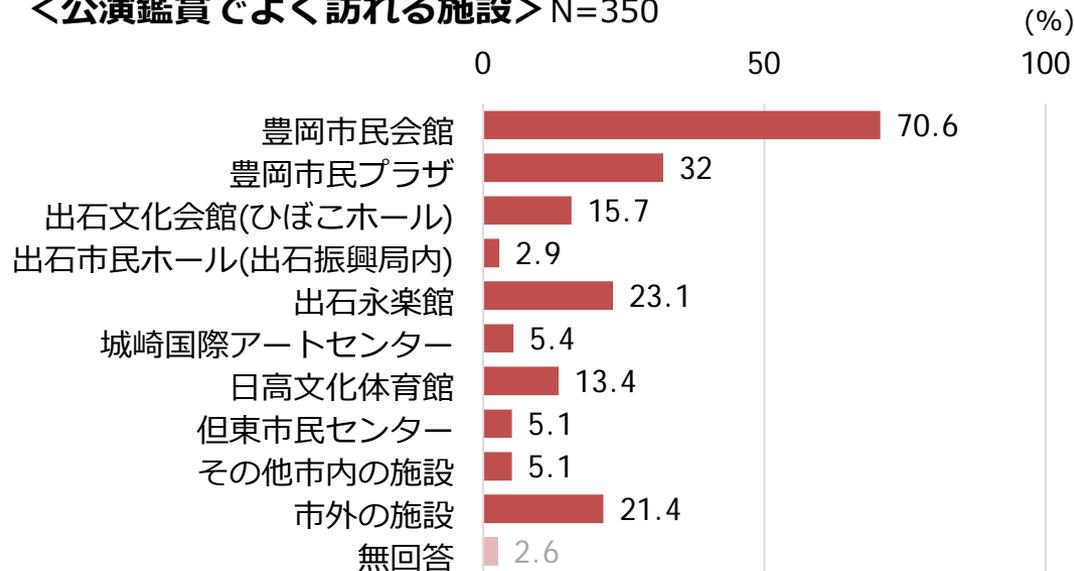


- どの年代も1～3回の割合が多い。
- 子育て世代の30代、70代以上の高齢者は、4回以上鑑賞した割合が低い。
- 上記を除く年齢層は4回以上が3割前後。

	1～3回	4～6回	7～9回	10回以上	無回答
19歳以下	70%	10%	10%	10%	0%
20-29歳	67%	11%	0%	22%	0%
30-39歳	83%	9%	0%	9%	0%
40-49歳	75%	14%	2%	8%	2%
50-59歳	73%	19%	5%	2%	2%
60-69歳	72%	20%	4%	4%	1%
70-79歳	85%	11%	0%	1%	3%
80歳以上	86%	8%	5%	0%	0%
無回答	100%	0%	0%	0%	0%

Ⅱ.鑑賞について－施設

＜公演鑑賞でよく訪れる施設＞ N=350



- 公演鑑賞に訪れる場所は、市民会館が7割で最大、市民プラザが3割、出石永楽館が2割。
- その他市内の施設は、豊岡劇場(映画)が多数。
- 2割程度の人が市外の施設を利用し、神戸・大阪・京都の大規模施設を訪れている。
- 近隣の養父、八鹿、和田山の施設利用者は大都市施設より少数。

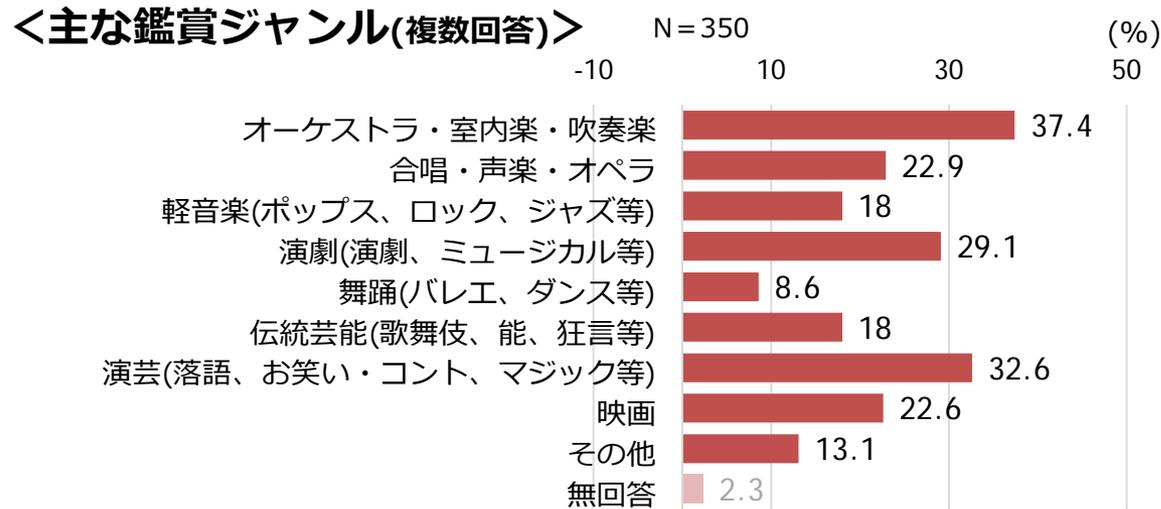
⇒観たい演目があれば遠方まで足を運ぶ傾向。

＜地域別×公演鑑賞でよく訪れる施設（複数回答）＞ N=347

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
豊岡市民会館	72%	47%	75%	51%	36%	45%
豊岡市民プラザ	33%	7%	38%	16%	11%	18%
出石文化会館	8%	7%	6%	9%	36%	27%
出石市民ホール	2%	0%	0%	0%	7%	0%
出石永楽館	15%	20%	31%	9%	49%	36%
城崎国際アートセンター	6%	33%	0%	3%	2%	0%
日高文化体育館	2%	0%	0%	45%	4%	5%
但東市民センター	2%	0%	0%	0%	0%	36%
その他_市内の施設	3%	0%	6%	5%	2%	9%
その他_市外の施設	16%	20%	19%	26%	29%	14%

- 市民会館は城崎・竹野・日高・但東地区住民に地元の施設以上に利用されている。
- 出石地区のみ市民会館の利用よりも地元施設の利用が多い。ひぼこホールの閉館に伴い、市民会館の利用増が見込まれる。

Ⅱ.鑑賞について－ジャンル



- 鑑賞ジャンルは、「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」といった器楽が約4割と最も多く、次いで「演芸」、「演劇」が約3割となっている。

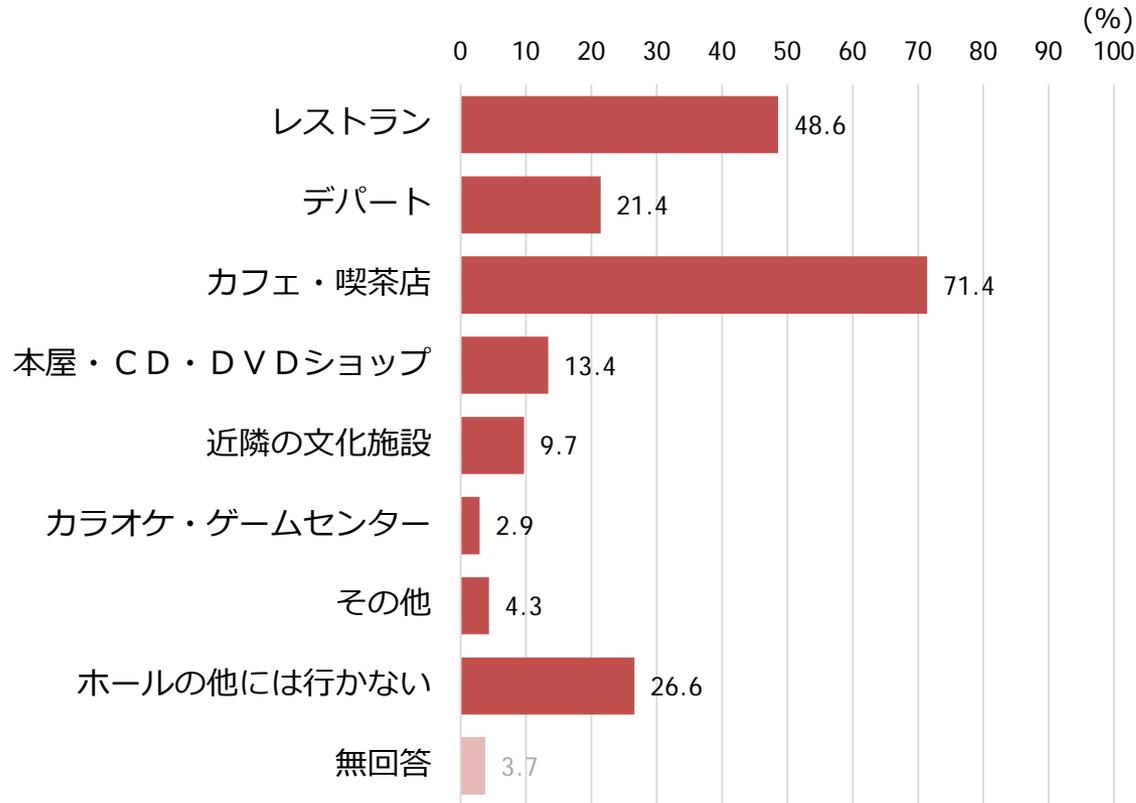
<世代別×鑑賞ジャンル(複数回答)> N=348

	19歳以下	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
オーケストラ等	30%	44%	39%	45%	39%	32%	27%	35%
合唱・声楽・オペラ	10%	0%	13%	10%	24%	22%	31%	24%
軽音楽	0%	22%	26%	18%	24%	18%	4%	11%
演劇	80%	22%	17%	10%	22%	26%	34%	32%
舞踊	0%	0%	17%	12%	5%	6%	11%	5%
伝統芸能	10%	11%	4%	14%	10%	24%	19%	16%
演芸	20%	33%	13%	16%	22%	31%	42%	38%
映画	30%	44%	35%	18%	24%	14%	18%	11%
その他	10%	0%	9%	12%	10%	13%	15%	16%
無回答	0%	0%	0%	2%	2%	0%	0%	0%

- 10代の演劇鑑賞率は約8割（学校の芸術鑑賞の影響か）。70代以上も3割超。
- オーケストラ等の鑑賞率は、いずれの世代も約3割を超える。
- 60代以上の各世代では演芸が、30代以下では映画が約3割の鑑賞率を超える。

Ⅱ.鑑賞について－前後に訪れる、訪れたい場所

<公演鑑賞の前後に訪れる・訪れたい場所(複数回答)> N = 350

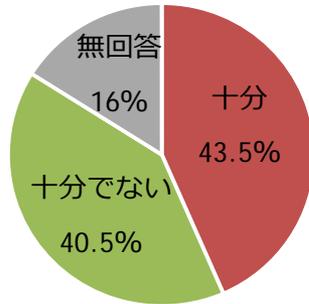


- 公演鑑賞の前後に訪れる・訪れたい場所は「カフェ・喫茶店」、「レストラン」と飲食店の人気が高いことが分かる。性別、年齢、職上、地域に関わらず同様の傾向が見られた。

⇒公演鑑賞時の居場所として、飲食の場が望まれる。施設に併設するか、建設場所を考慮するかなど、要検討。

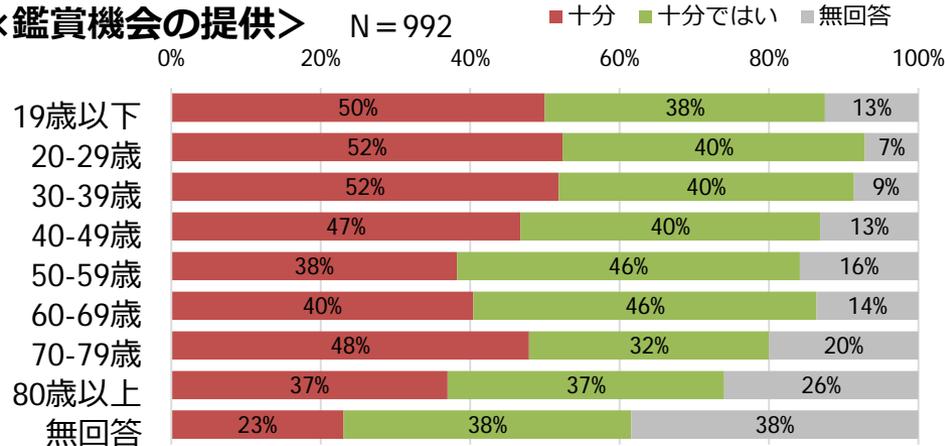
Ⅱ.鑑賞について－鑑賞機会の提供

＜公演鑑賞の機会や環境の提供は十分か＞ N=992



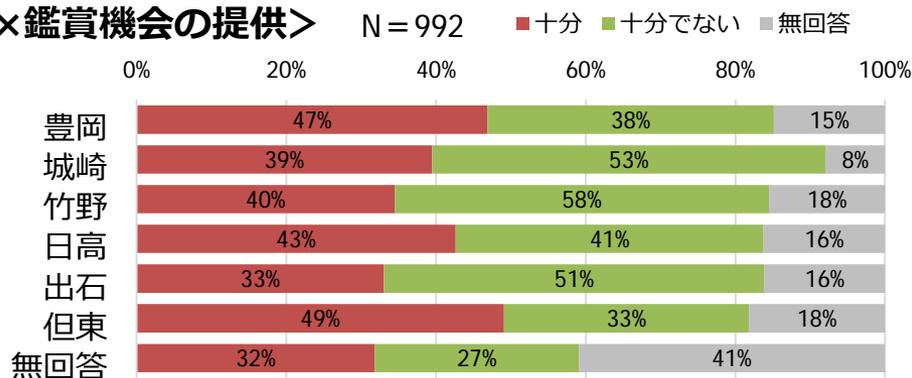
- 公演鑑賞についての機会については、十分43%、不十分40%。

＜年齢×鑑賞機会の提供＞ N=992



- 年齢別にみると、50-59歳、60-69歳が、鑑賞機会の提供について、不十分が上回った。

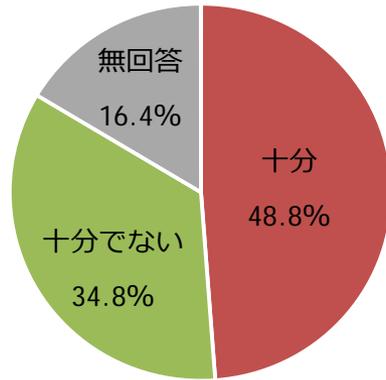
＜地域×鑑賞機会の提供＞ N=992



- 地域別に見ると、竹野、城崎、出石において、大きく不十分が上回った。

Ⅱ.鑑賞について－鑑賞情報の提供

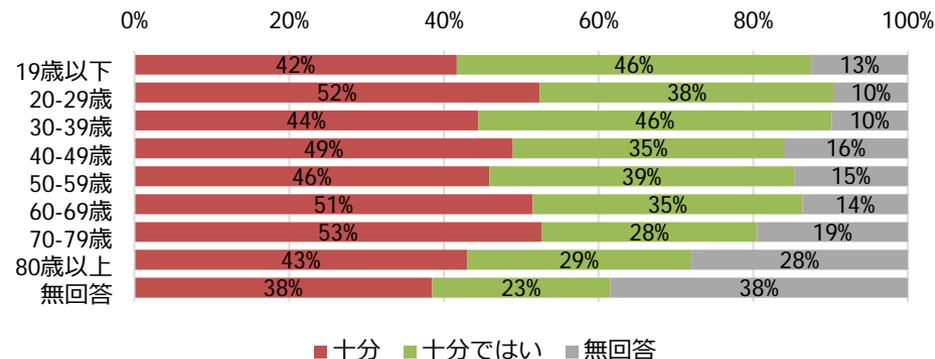
<公演鑑賞についての情報提供は十分か> N=992



- 公演に関する情報については、十分48%、不十分35%。
- 前頁の図のとおり、公演鑑賞についての機会については、十分43%、不十分40%。

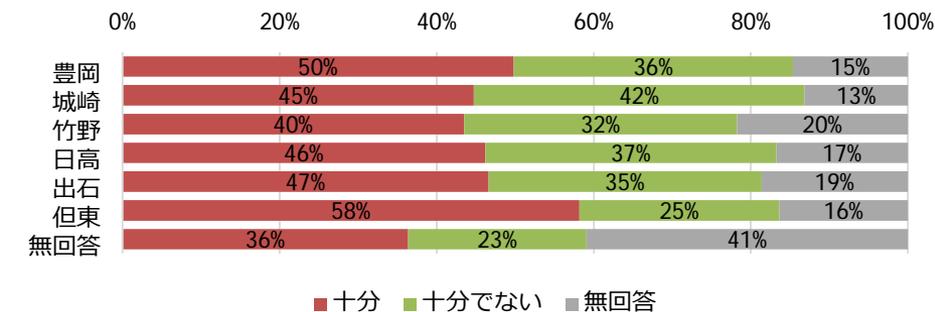
⇒情報はあがるが、観たい公演は少ない状況が推察される。

<年齢×鑑賞情報の提供> N=992



- 情報については、19歳以下、20-29歳と若い世代が、十分が不十分を下回る。

<地域×鑑賞情報の提供> N=992



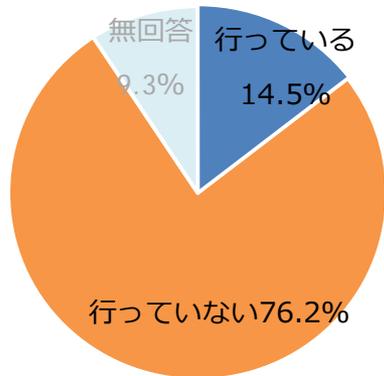
- 地域別に見ると、情報提供については、各地域とも、十分が上回る。

Ⅲ.文化芸術活動について

- ・文化芸術活動を行っている人は15%。目的は「好きだから、楽しいから」が7割。
- ・友人、交流、充実した余暇等、豊かな日常生活に関わる回答も多数。

<文化活動への取り組み>

N=992

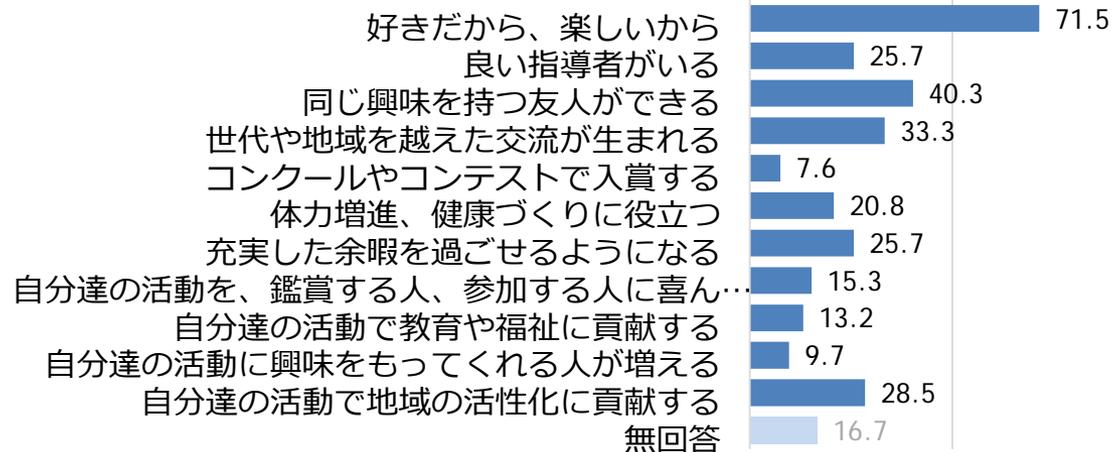


<活動を行う主な目的(複数回答)>

N=144

50

(%)
100

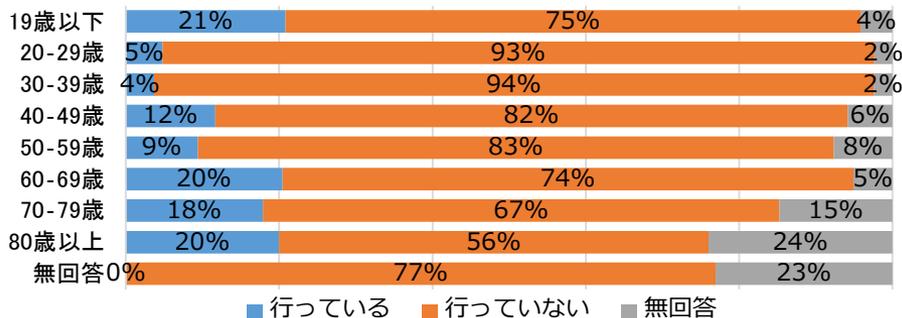


- ・10代、60-80代で2割以上が活動を行っている。20-30代の活動率が著しく低い。
- ・出石、竹野、但東が2割前後、豊岡、城崎、日高は1割程度。

<年代別×文化芸術活動>

N=992

0% 20% 40% 60% 80% 100%

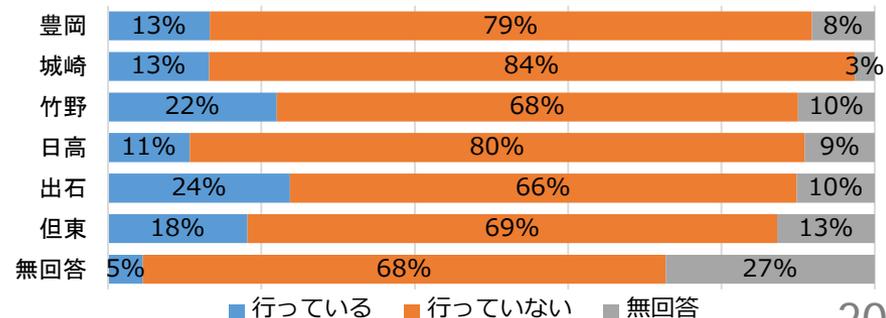


■ 行っている ■ 行っていない ■ 無回答

<地域別×文化芸術活動>

N=992

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 行っている ■ 行っていない ■ 無回答

Ⅲ.文化芸術活動について

<文化活動を行わない理由>

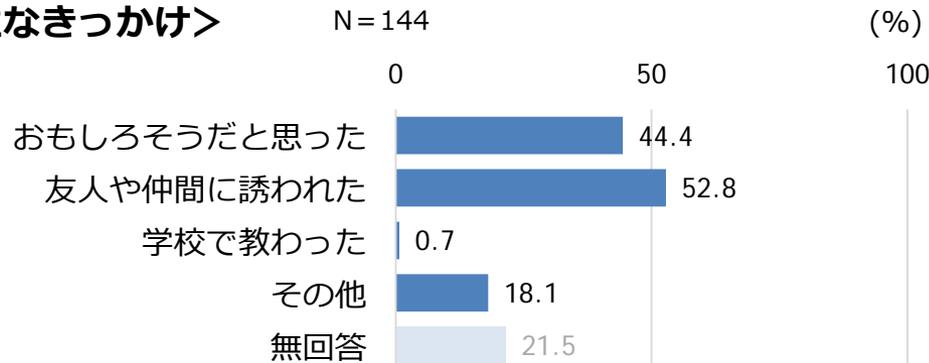
N = 756



- 文化芸術活動を行わない理由として、時間がないが約5割で最も多く、次いで活動に興味がないが約3割である。
- 日時が合わない、一緒に活動する人がいない、団体に入るきっかけがないがそれぞれ約2割で、
⇒きっかけがあれば、活動を行う可能性が推察される。

<活動を行う主なきっかけ>

N = 144

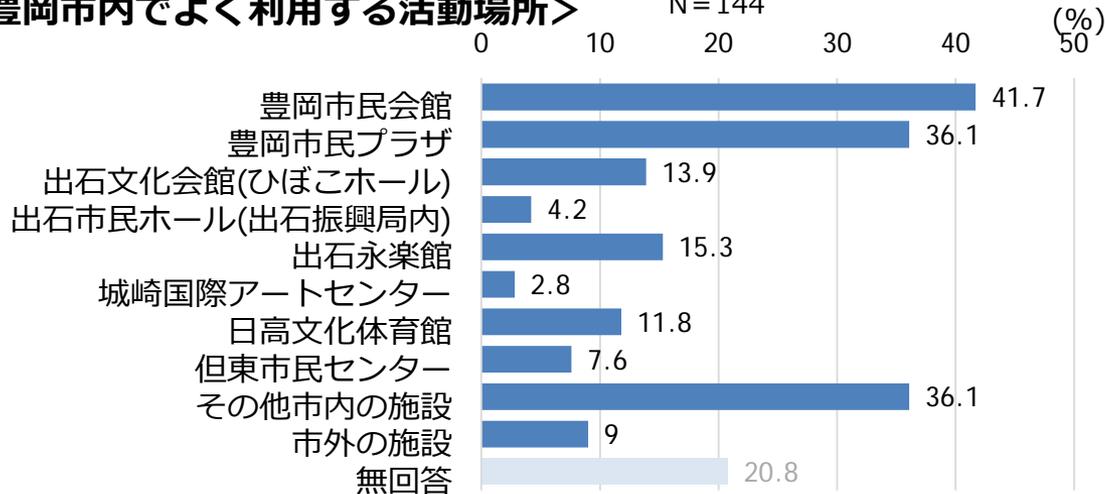


- 文化芸術活動を行う主なきっかけは、「友人や仲間に誘われた」が約半数を占めている。

Ⅲ.文化芸術活動について

<豊岡市内でよく利用する活動場所>

N = 144



- 豊岡市内でよく利用する活動場所は、豊岡市民会館が最も多い。

<豊岡市内でよく利用する活動場所×地域別>

N = 143

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
豊岡市民会館	32%	20%	27%	10%	11%	0%
豊岡市民プラザ	37%	0%	9%	10%	11%	0%
出石文化会館	6%	0%	0%	0%	32%	20%
出石市民ホール	1%	0%	0%	0%	11%	0%
出石永楽館	1%	0%	0%	5%	32%	10%
城崎国際アートセンター	1%	20%	0%	0%	4%	0%
日高文化体育館	0%	0%	0%	33%	0%	0%
但東市民センター	0%	0%	0%	0%	0%	60%
その他_市内の施設	31%	60%	55%	33%	18%	0%
その他_市外の施設	6%	0%	0%	5%	14%	20%
無回答	7%	20%	9%	10%	0%	0%

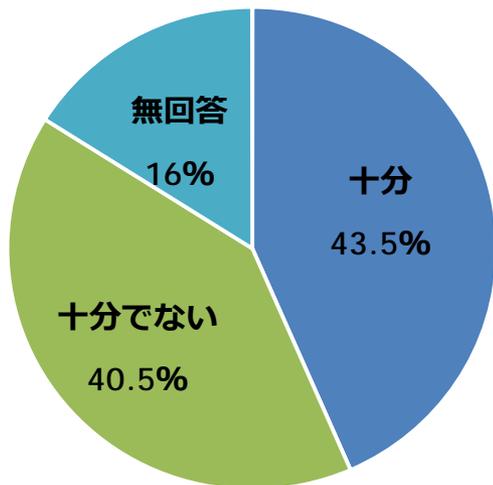
- 豊岡、日高、出石、但東においては、地元の施設の利用が多い。
- 竹野、城崎においては、その他の市内の施設が多い。
(各地区のコミュニティセンターや学校など)
- 竹野については、市民会館の利用も目立つ。

Ⅲ.文化芸術活動について

- 文化活動についての機会や情報については十分が不十分を上回るが、その割合は半数を満たさない。
- 機会においては、ほぼ同割合である。

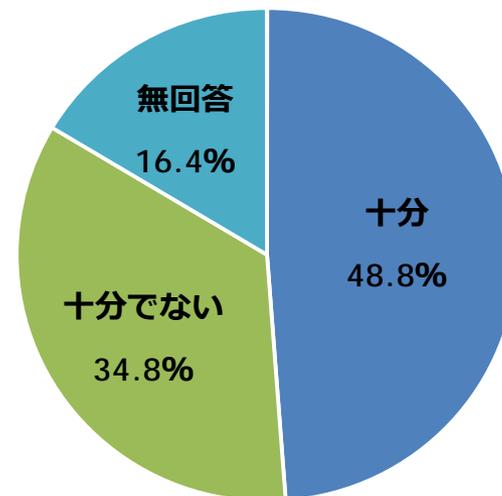
<文化活動に満足な機会・環境が提供されているか>

N=992



<文化活動情報提供は十分か>

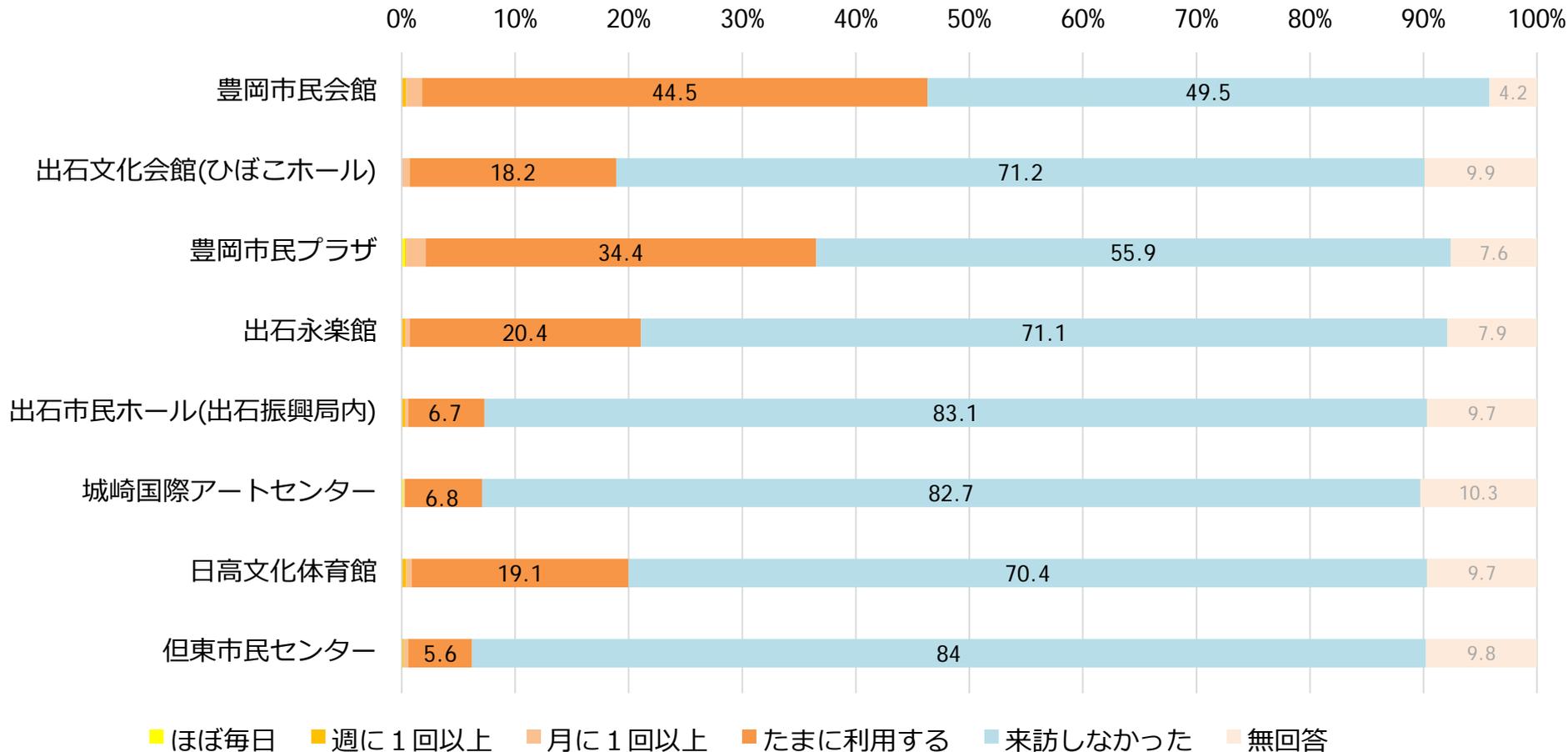
N=992



IV.既存施設について

- 過去3年間の施設来訪度が最も高いのは、豊岡市民会館となっており、その次に、豊岡市民プラザ、出石永楽館が続いている。

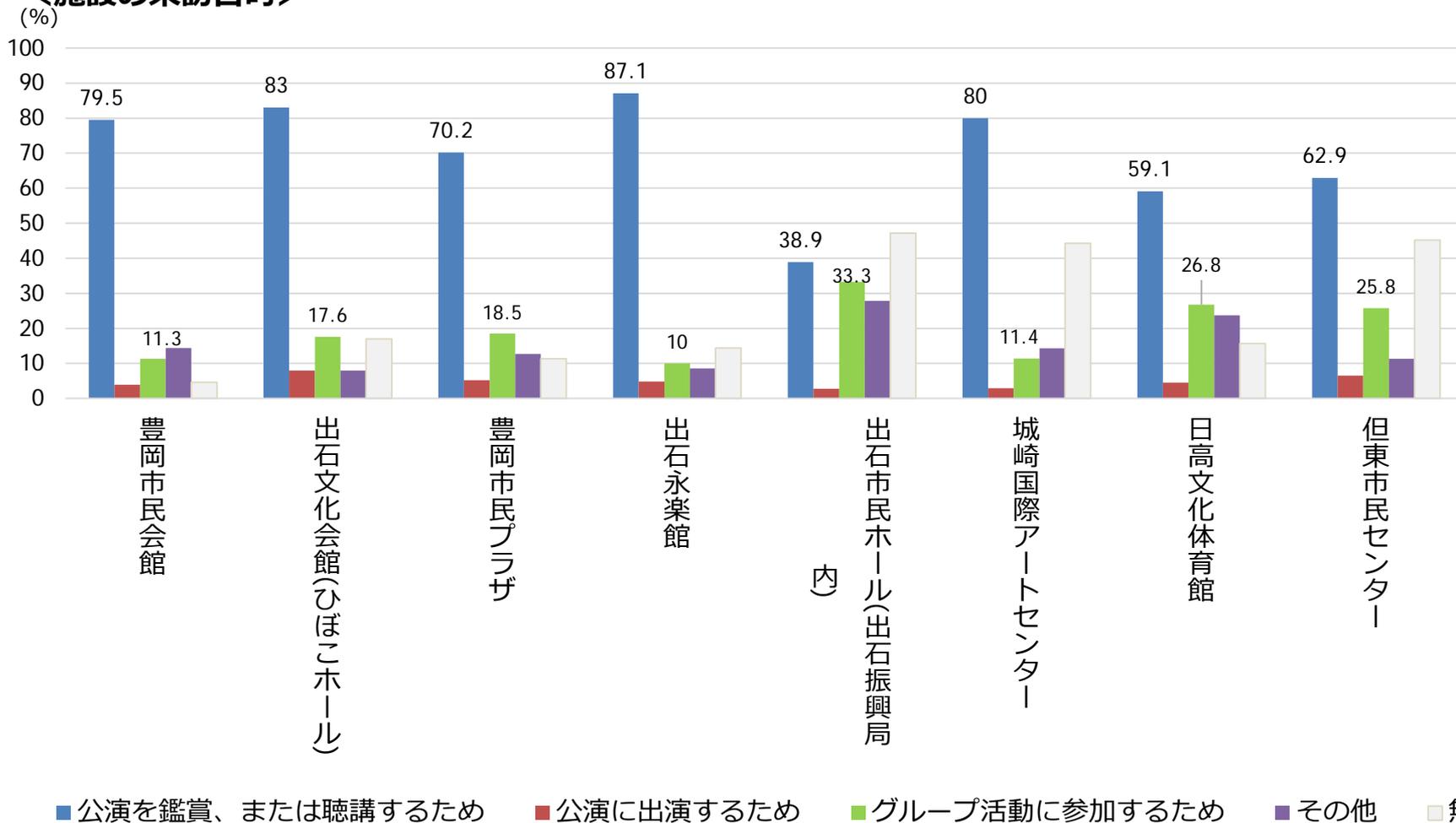
<過去3年間の施設来訪頻度> N=992



IV.既存施設について

- 各施設の来訪目的は、「公演を鑑賞、または聴講するため」が最も多い。
- 出石市民ホール、日高、但東は「グループ活動」が比較的多い。
- 「公演に出演するため」は、少数だがいずれの施設でも行われている。

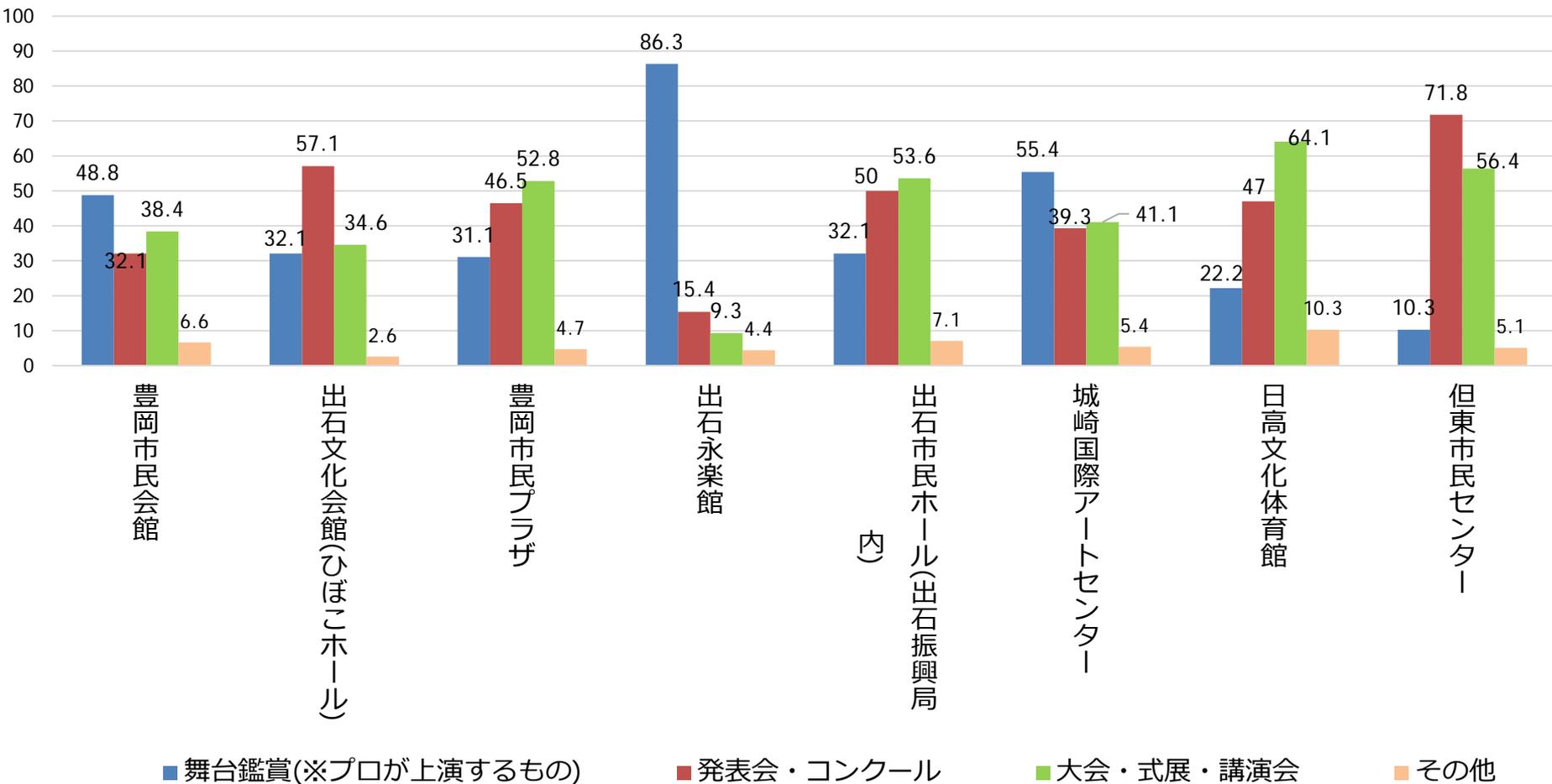
<施設の来訪目的>



IV.既存施設について

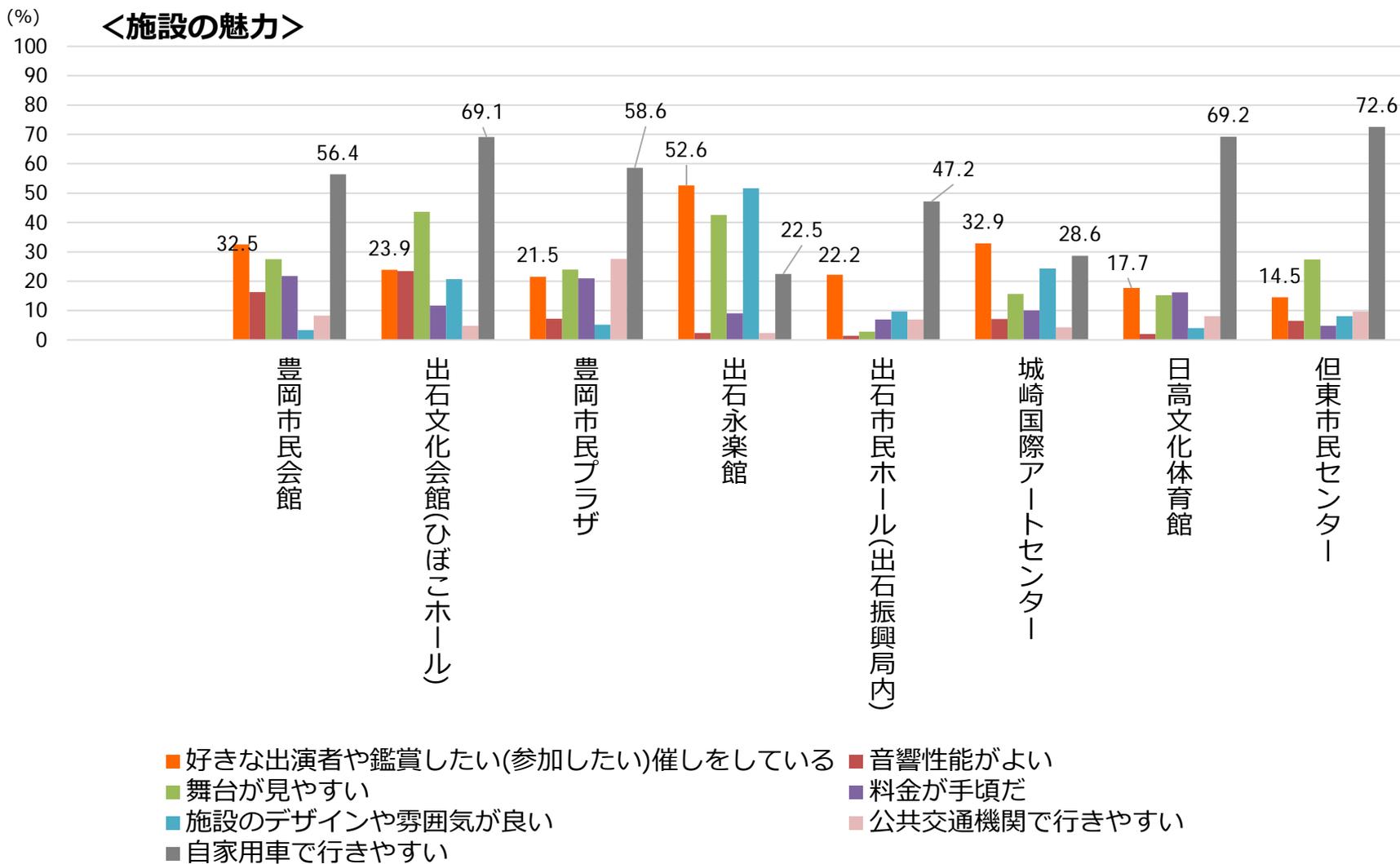
- ・各施設の鑑賞ジャンルは、施設の特徴によって異なる。
- ・永楽館は舞台に特化、ひぼこ、但東は発表会がメイン、市民プラザ、出石市民ホール、日高は大会・式典・講演会が多い。市民会館、城崎は舞台が最大だが他用途も多い。

(%) <鑑賞のジャンル>



IV.既存施設について

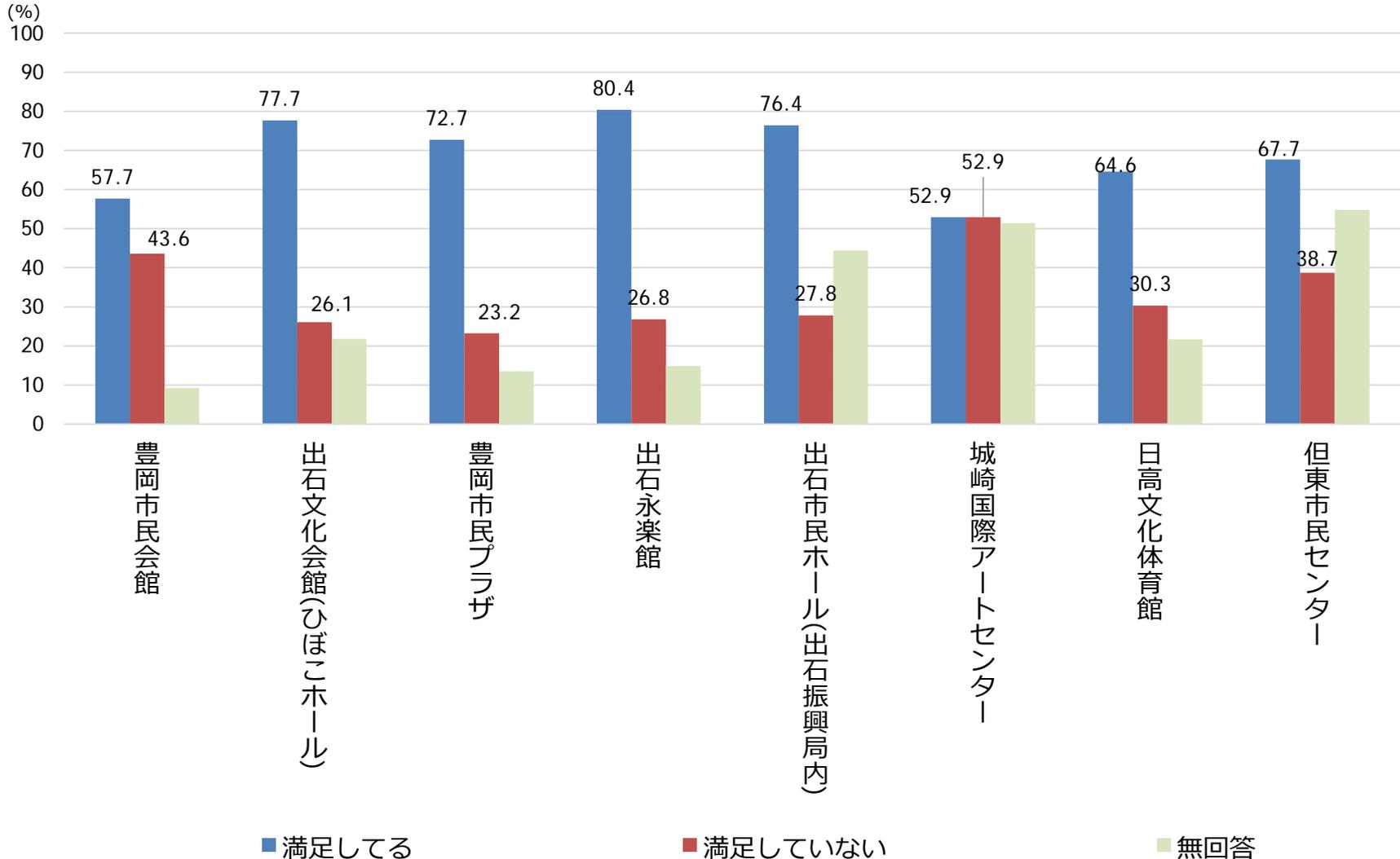
- 施設の魅力としては「自家用車で行きやすい」が多く、アクセスの重要性が分かる。自動車以外の評価が高いのは、永楽館（催し、舞台の見やすさ、施設デザイン）、ひぼこ（舞台の見やすさ）、城崎（催し）。市民会館は催しの評価が比較的高い。



IV.既存施設について

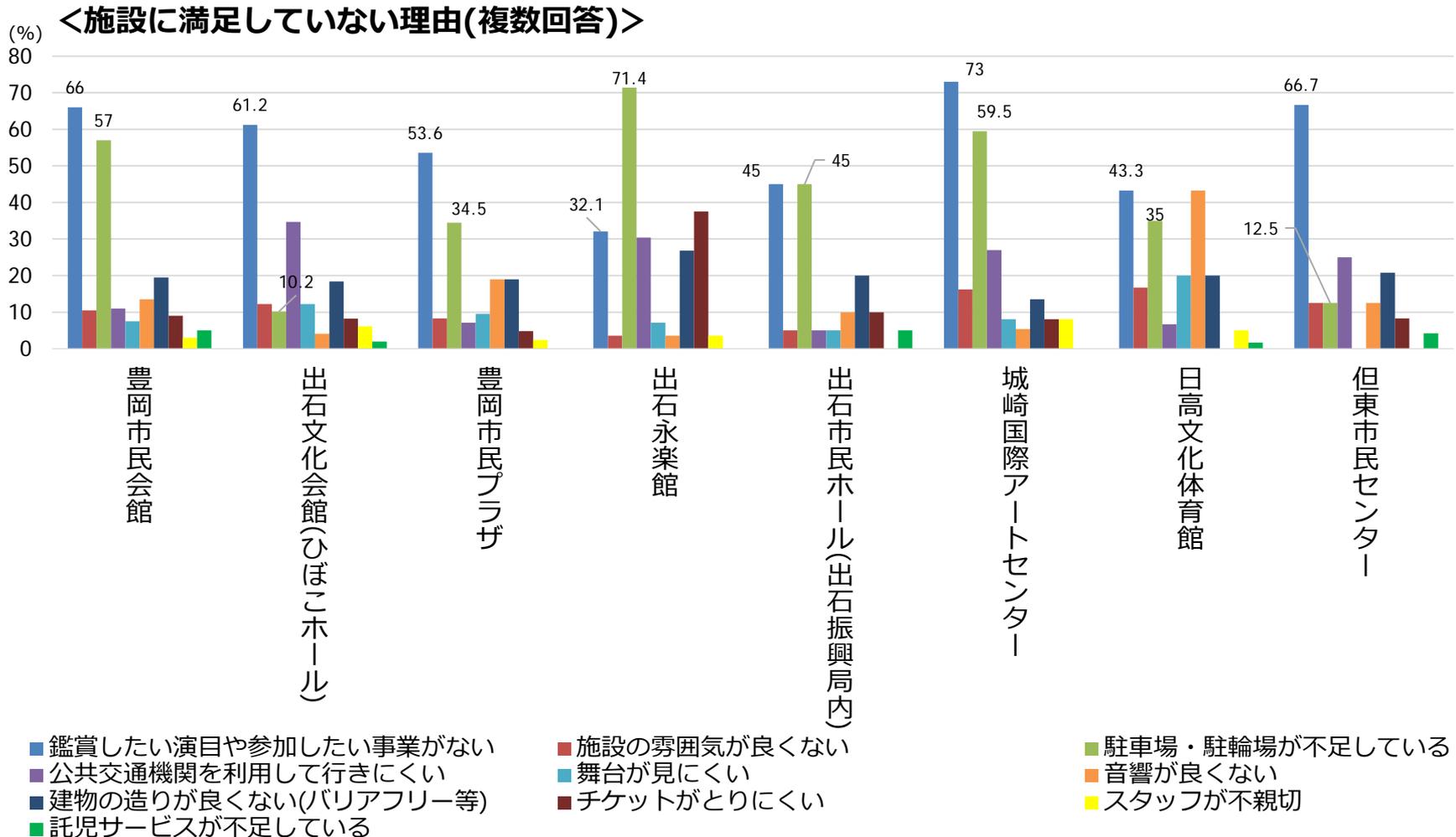
- ・施設満足度はほとんどの施設で半数を上回っていることが分かる。
- ・城崎と市民会館は「満足」と「満足していない」の差が少ない。

<施設満足度>



IV.既存施設について

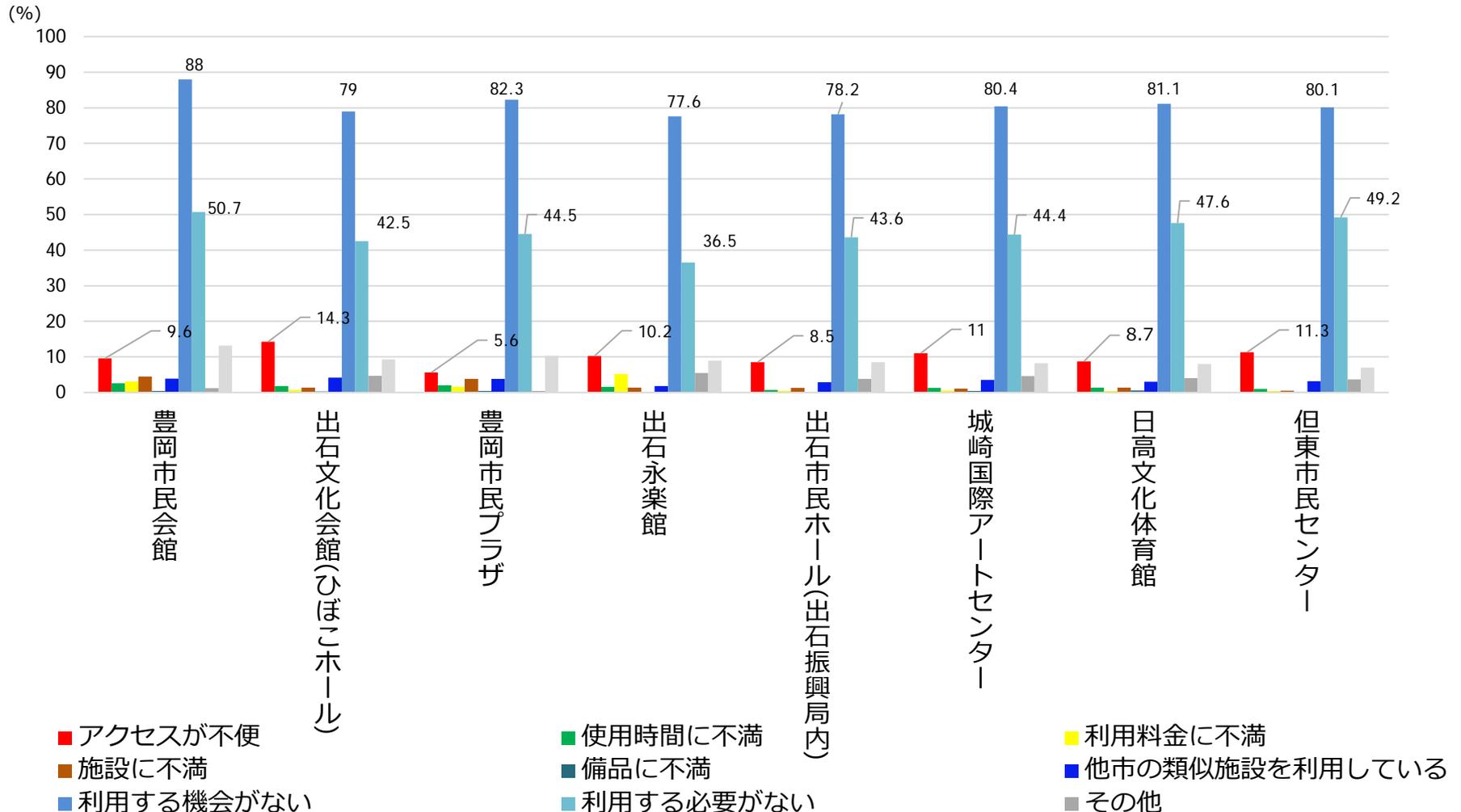
- 満足していない理由として、鑑賞したい演目や参加したい事業がない、が全般的に多い。また、駐車場が不足しているという声も多数。
- このほか、施設により、公共交通機関によるアクセス、チケット取得の容易さ、音響、バリアフリー等、不満要因はさまざま。



IV.既存施設について

- 各施設に来訪しない理由は、「利用する機会がない」が最も多く、次いで、「利用する必要がない」、「アクセスが不便」となっている。

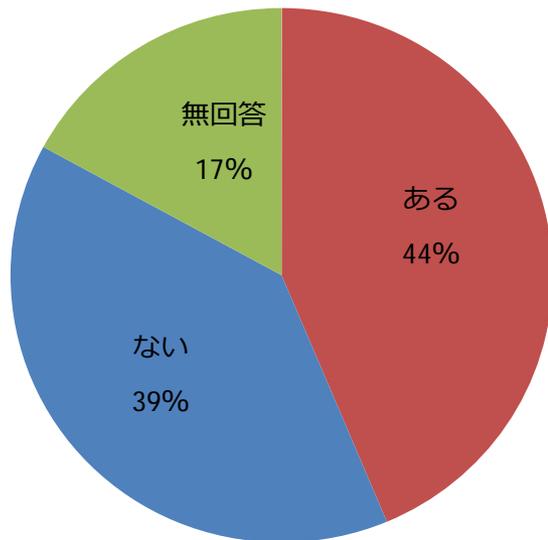
<施設に来訪しない理由(複数回答)>



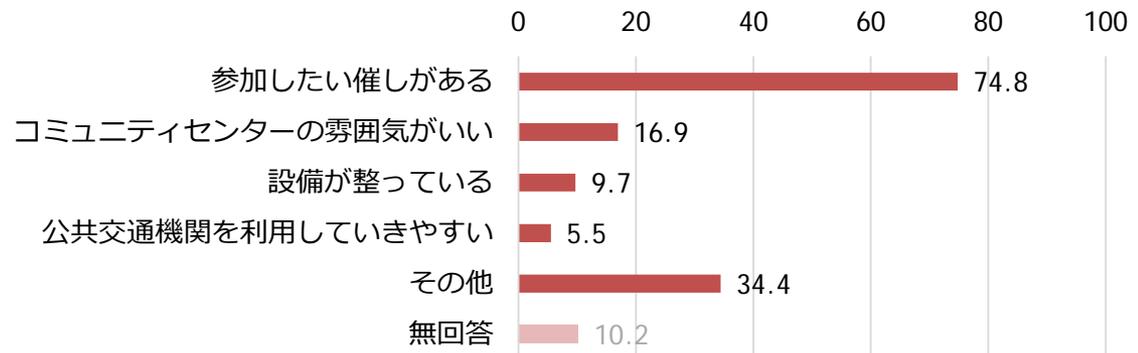
IV. コミュニティセンター

- ・コミュニティセンターの来訪経験があるのは約4割で、特に豊岡地域と日高地区の来訪が多い。
- ・施設の訪問理由としては、「参加したい催しがある」が7割を超えている。

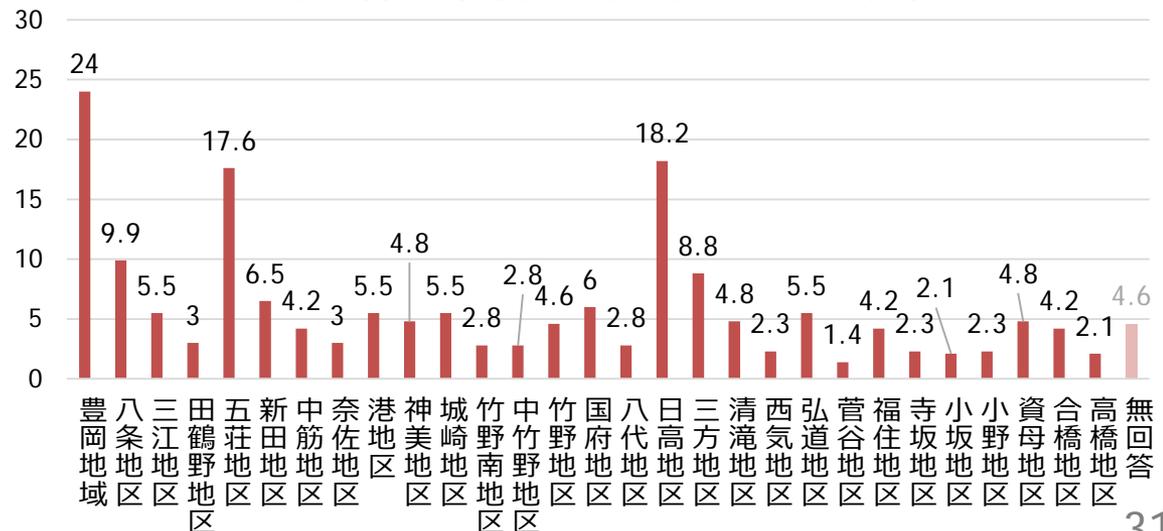
＜過去3年間の豊岡市内のコミュニティセンター来訪の有無＞ N=992



＜コミュニティセンターを訪れた理由＞ N=433 (%)



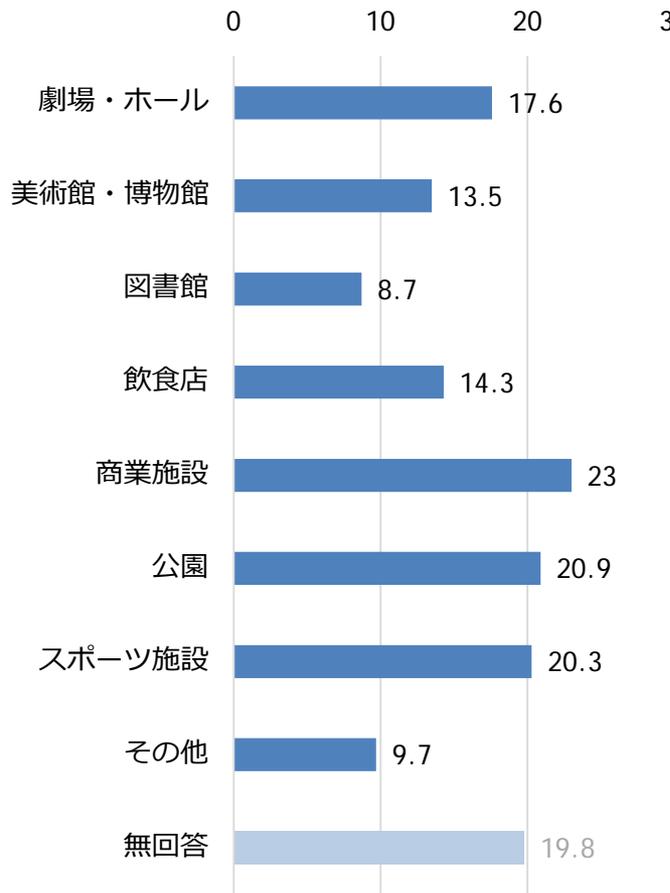
＜過去3年間に来訪した豊岡市内のコミュニティセンター＞ N=433 (%)



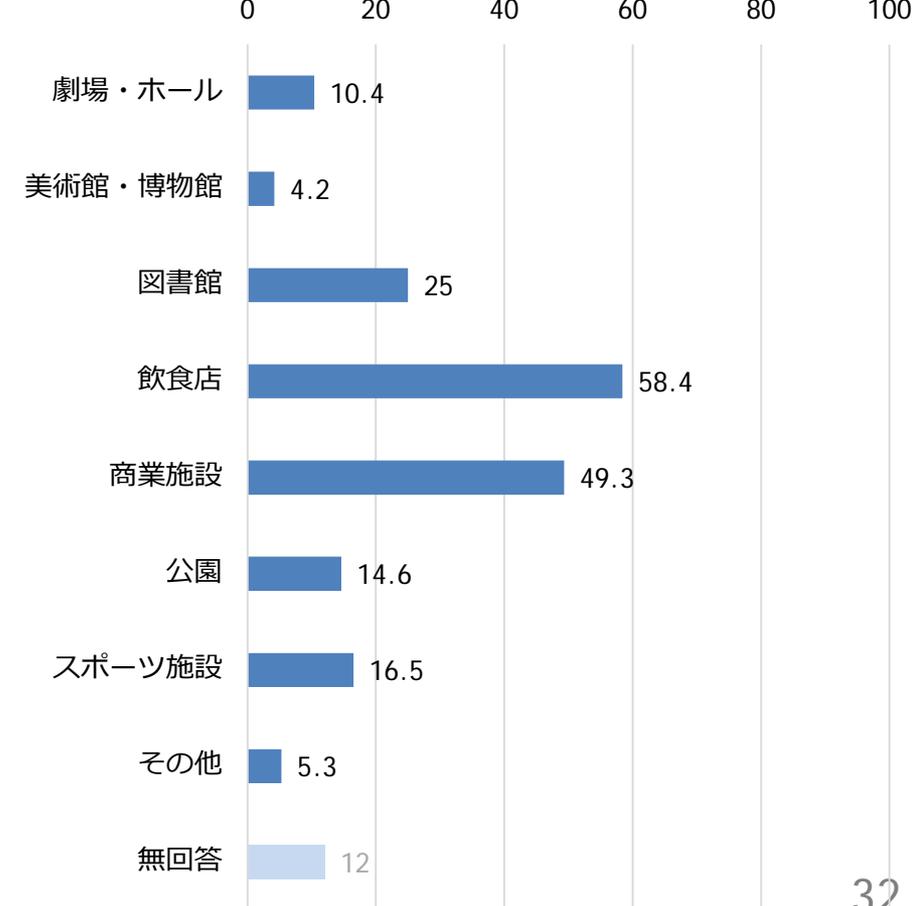
IV.余暇について

- ・余暇の充実のために整備が必要だと思う豊岡市内の場所は、商業施設、公園、スポーツ施設の順に並んでいる。
- ・余暇でよく訪れる場所は、飲食店が58.4%と半数を超え、商業施設が49.3%と約半数となっている。

<余暇の充実のために整備が必要だと思う豊岡市内の場所> N=992 (%)



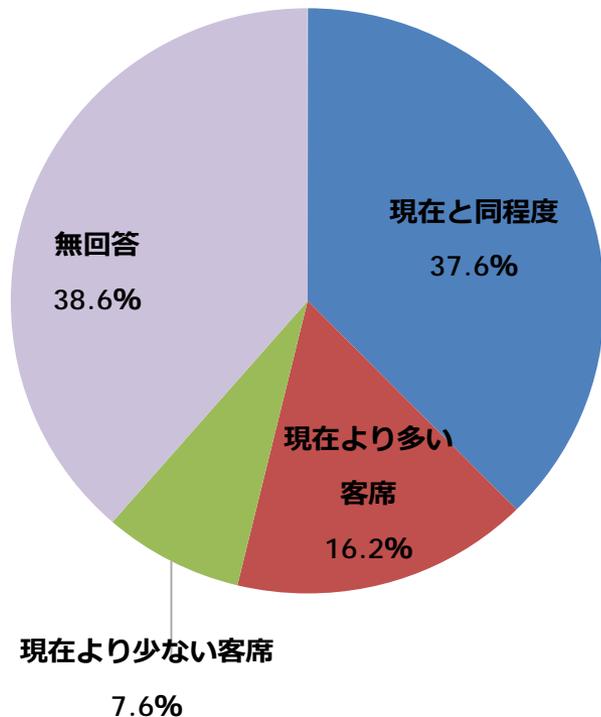
<余暇でよく訪れる豊岡市内の場所(複数回答)> N=992 (%)



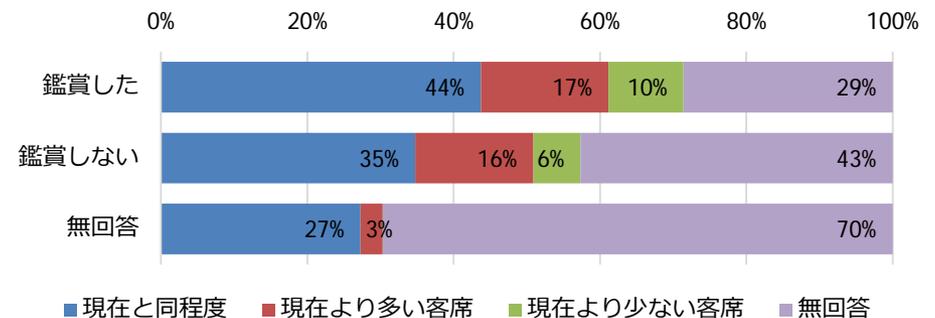
V.新施設に望むこと

- 全体では、現在と同規模、無回答が各々約4割。現在より多い客席が16%、現在より少ない客席数が8%となっている。
- 公演鑑賞や文化活動を行っている市民の方が、そうでない市民より大きなホールに対する意向が低い傾向が見られる。

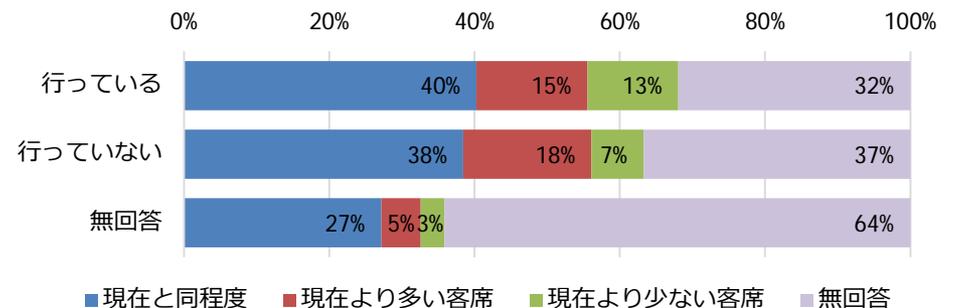
〈望ましいホール規模〉 N=992



〈鑑賞した・しない×望ましいホール規模〉

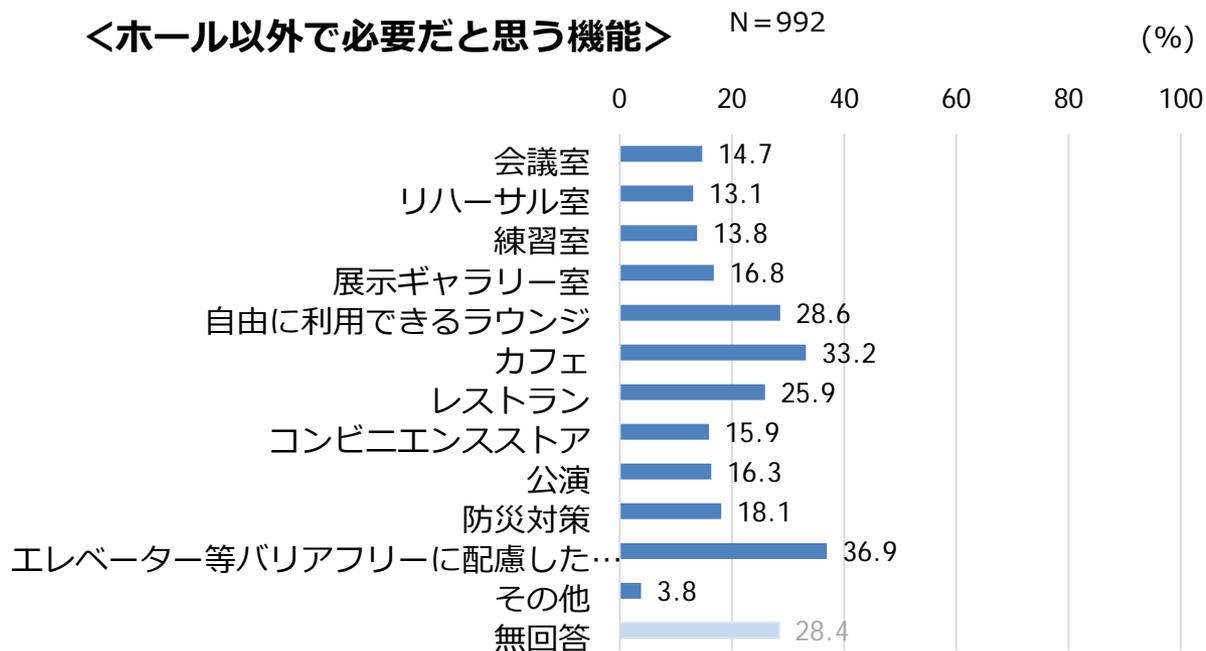
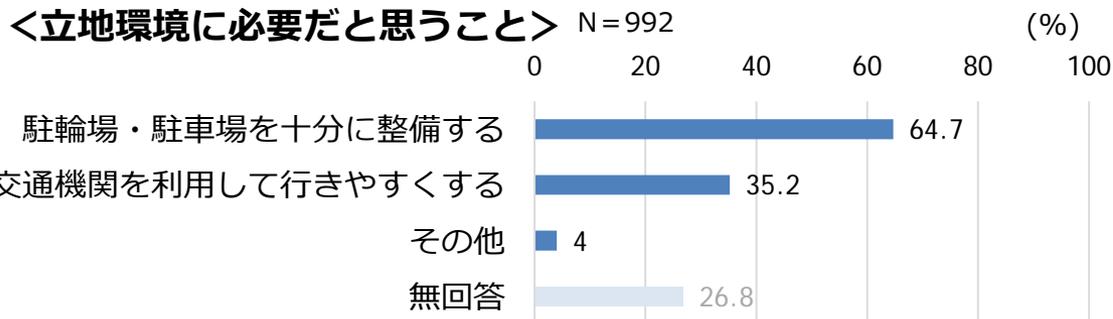


〈活動した・しない×望ましいホール規模〉



V.新施設に望むこと

- ・立地環境としては駐輪・駐車場の整備の要望が半数を超えている。
- ・ホール以外の機能として、バリアフリー、飲食機能、自由に利用できるラウンジを求める声が多い。



VI.自由意見

・「どのような施設を作るのか」よりも「新たな施設で何をするのか」の方が大事だと思います。巨大な会議よりもエンターテインメントに特化した方が利用の幅は広がるかなと。音響設備を充実させて有名アーティストのライブイベントなどを誘致したり、映画を上映してもらえれば利用機会は増えると思います。映像設備も充実できればパブリックビューイングやカウントダウンイベント等でも利用できそう。

- ・現市民会館が立地的に水害に弱い為、災害発生時の避難所として提供できるようにして頂きたい。
- ・建物のデザインですが、せっかくなら個性的なものにしてほしいです。

(40代男性 会社員 豊岡)

- 1、今やっている催物が車からもかるように表示できるようにして欲しい。
- 2、人気タレントをどしどし呼び込んで市民に元気アップしてもらいたい。
- 3、障害者のバリアフリーはよく考えてほしい。
- 4、最新映画、映画館併設も考えてほしい。
- 5、座イススペースを十とり、(前後左右)ゆとりと気楽さで楽しく観賞できるようにする。
- 6、駐車スペースの十な確保(バス、自家用車)→バス車がほとんど。
- 7、駐車場から横断して会館へ行来することのないようにする。→あぶない、混雑する
- 8、会館にはレストラン、コンビニ、ATM、会議室、帰りに買い物ができれば便利
- 9、座席は1500席くらいに増やす。
- 10、市民が利用する場合、利用料金を安価にする。
- 11、バス、電車の便のよい所へ(できるだけ)
- 12、タレントが使いやすい会館建設を！！どんどんタレントを呼びこんでほしい。

自分の行きたい催物は積極的に参加したいです。

(60代男性 定年退職者 豊岡)

VI.自由意見

- ・もっと色々なジャンル（笑い、音楽、映画、舞台劇他）を月1位に計画して欲しい。市民が参加できる公演やプロの公演や楽しく年寄りから若者まで鑑賞できるものを計画して欲しい。金額も考えて。
- ・年3回ぐらい有名なアーティスト公演を計画して欲しい。最近あまり計画されていない、見たいです。
- ・大ホール、小ホール、大会議室、小会議室、人数によって利用できる部屋をつくって下さい。
- ・スポーツ施設もほしい。プールほか室内で楽しめる施設、雪の時トレーニングができるものがない。
- ・多目的室ほしい。いつでも楽しめる親子キッズコーナーも考えて下さい。
- ・もっともっとアピールして毎月何かを計画して参加できる対応を検討して、若者から子供から年寄りまで集まれる施設を期待します。

（60代男性 会社員 日高）

- 1、市民の小さなサークルが使いやすい料金。音響、照明などの費用を抑え、空調を別料金にしない。
- 2、有料の行事だからと使用料を倍にするなど（興業は別として）、製作費がまかなえる程度の料金から上げないように。
- 3、客として入館する場合のバリアフリーは当然として、楽屋入り口側からもバリアフリーで。もちろん楽屋にもトイレやドアの配慮を。
- 4、大ホール以外にキャパ100～300の小中ホールが必要である。
- 5、バンド、グループなどのリハーサル、練習のできる防音の部屋がいる。
- 6、雨、雪にさらされずに入館できるように地下に駐車場を作るべきである。

（50代男性 自営業 豊岡）

VI.自由意見

子どもを3人育てる子育て世代です。おんぷの祭典や子育てセンター等でも無料でプロの音楽家さんたちのコンサート等を見させていただき、身近に本物の音楽に触れられることはとても嬉しい事です。私自身豊岡で育ちましたが、色々な催しやホールも増え、小さい時から様々なものに触れられ、ありがたいです。家では連れていけない所も、学校で参加する時もあり、もっともっと参加させてもらって、豊岡でも本物に触れたり、豊岡の魅力を感じられるようにお願いします。

(40代女性 主婦 豊岡)

赤ちゃんから老人まで安全で安心して利用できる施設であってほしい。豊岡市は田舎ですが、多くの割合を占めている老人にはあまり優しくない町だと思う。高齢者に向けた催し物や、優待券などを使って、利用してもらえるようにしてほしい。田舎の高齢者は元気です。その方へ、ここに来れば楽しめますよと言えるような、いつでも集えるような施設を作ってほしい。

(30代女性、パートアルバイト 竹野)

- ・公共交通機関を利用しても自家用車でも行きやすく、皆が行きたいと思うような施設にして欲しい。
- ・コンビニエンスストアをつけることで、施設を利用した方はもちろんのこと、周辺に住んでいる方も利用して下さると思いますし、現在の豊岡市民会館より利用人数が増加すると考えています。
- ・レストランが設置されるのであれば、家族連れはもちろん1人で来られる方も来やすいよう、カウンター席、テーブル席にはしきりが必要だと思います。
- ・バリアフリーは絶対に必要だと思います。車椅子で移動しておられる方、目耳声に障害を抱えている方が豊岡市内にはいます。その方々が不快に感じない施設にして欲しいです。

(女性 学生 豊岡)

VI.自由意見

ホール単独で造るのではなく、喫茶や食事ができたり、絵や書、本が読めたりするような空間も併せて設けることが望ましい。楽しみがあれば、足を運ぶ喜びがあれば施設は“憩いの場”となります。複合機能を持たせ、そこを活用することにより、施設での催物がなくても、“人が集まる場、憩いの場”であれば、商業レベルが期待できます。そこには雇用が生まれ、地域の活性の場になります。子どもから学生、社会人、老人に至るまでが共通の息抜きの場、又活力の場として利用できることがこれからの豊岡市創生には必要だと思います。

これからは人口減少、しかも私達の子供孫、若い人たちが学校や働く場を求めて、都会に出て行き、若い人の少ない、活力のない故郷が目に見えています。今こそ、今を生きる私達は、先人が営々として築いてきたこの豊岡、但馬の歴史、先人の足跡、努力、勇気、功績を知り、そして継承していくことが大切ではないでしょうか。そうした“情報の場”として公共施設のあり方を考える必要があるのではないのでしょうか。

激動の時代だからこそ、“温故知新”ではないですが、私達の先人が幾度も郷土発展のため、子孫幸福の為に命を懸けて築いてきた“現代の郷土”があるのです。この郷土の上に立ち、先人に恥じないよう、この時世の難局を乗り切らなければなりません。そのための、人と人との結びつきの場の一つに施設がなり、市勢の復興発展に繋がる。このようなことを新施設に期待するものです。

(60代男性 自営業 出石)

VI.自由意見

舞台芸術系の文化施設だけでなく、美術館・博物館も含めた多様な文化施設同士がより有機的な連携が行えるようにすることを期待します。城崎国際アートセンターで作品を創ったアーティストが、他の施設で公演をしたり、美術館で展示をしたり、ワークショップを行ったりすると、世界から集まったアーティストの知恵や技術や豊岡で過ごした時間が作品やワークショップなどの形で再び豊岡に還元されることが可能になるのではないかと思います。これだけ多様な(規模、立地、歴史、特色)をもつ文化施設同士が行政的な管轄にこだわらずに連携できれば、豊岡にしか出来ない新しい文化創造の形が探れるのではないかと思います。

ただ、立地やアクセスの問題は大きいので、従来の利用の仕方にこだわらず、地域ごとのニーズにあった変更は必要かと思えます。(貸出料金の見直し、規則の見直し(使用目的)、設備の改修など)

また、豊岡の文化を支えていく人材=各文化施設の職員が足りていないところがほとんどなので、どんな形であれもう少し人材を充実させて欲しいです。新文化会館ができるのであれば、なおさら文化施設各館の状況を把握して市文化政策と照らし合わせながら現場とつないでいくコーディネーターのような存在が必要ではないかと考えます。

(30代女性 公務員 城崎)

VI.自由意見

・街の中心に、小じんまりでもアーティスト達が使いたがる会館（これであれば、一流の人達は自然に集まってきます。）を作って欲しいです。音響等が整っているだけでなく、レコーディングやPVの制作にも役に立つような設備を整えれば、施設利用の向上につながるかなと思われます。レコーディングや映画音楽の収録は豊岡で！なんて言ってもらいたいです。城崎にもたくさんの芸術家が集まって来て下さるので、その方達ともリンクできたら良いですね。

・街の中心に、というわけは、他にもあります。子供でも年老いても行きやすいからです。施設の周りの広場で、晴れの日には、アーティスト達が練習している姿をながめてみたいです。また、豊岡からプロのアーティストを育てたい。豊岡市の子供達は、時々、プロと同じ舞台上で練習できて、舞台慣れしていれば、きっと他でも上手に演奏できるかな、と思います。

・せっかくの施設なので、なるべく利用率を上げる方法も見つけないと、採算もとれないのと、どこかでもうけるしくみが欲しいですね。レコーディングした売り上げの一部？何%は、施設利用料としてもらうとか、どうでしょう？（ただで貸すから、売り上げの何%はもらう、とか。ただで来てもらうアーティストは選ぶことになりましたが…。）（他は有料にしないといけないですね。）

・それから、街中にあれば、周辺のお店も元気が出るでしょうし、施設にわざわざカフェやレストランは必要なくなります。豊岡はホテルも多いですし、宿泊施設は心配ないから良いですね。空港もあるので、アーティスト達は来やすいです。もし、観客を大量に収容したい時は、壁をとり払ったら、客席を増やせるとか、なにか工夫ができると良いですね。ワクワクしてしまって、乱筆乱文で失礼しました！

（50代女性 会社員 日高）

□ **新文化会館の整備スケジュール（案）**

新文化会館 基本構想整備スケジュール (案)

業務内容		11月	12月	1月	2月	3月
策定委員会		19日 ●		29日 ●		18日 ●
意見聴取	団体ヒアリング	9日 10日	→ 分析			
	アンケート調査		● 発送	● 回収	→ 分析	
	ワークショップ		● 9日 ● 20日	● 26日	→ 分析	
新文化会館基本構想 (素案提案)				● 29日		
新文化会館基本構想 (委員からの意見聴取・修正)				● 30日	→ 12日	
新文化会館基本構想 (案)					● 18日	
パブリックコメント					→ 22日	7日
新文化会館基本構想 (案修正)						● 8日 → 17日
新文化会館基本構想 (策定委員会決定)						● 18日
新文化会館基本構想 (決裁) 策定						● 25日